

支給事例を載せています。ただし、支給要件が変更になる場合もあります。

事例 1 新規鉄板焼きテーブルの導入による業務効率化と顧客回転率の向上

【事業の種類】 飲食業 【従業員数】 3人

現在使用している鉄板焼きテーブルは、メンテナンス作業にかなりの時間を費やすため作業効率が悪く、また、お客様が帰られた後15分程度その鉄板焼きテーブルが使用できない状態でした。

新規に導入する鉄板焼きテーブルは焦げ付きにくく、メンテナンス作業時間が短縮でき、また、すぐに次のお客様をご案内することができるので、顧客回転率を上げることができます。

事例 2 歯科用総合管理システムの導入による業務効率化

【事業の種類】 歯科医院 【従業員数】 5人

受付での患者様情報の入力、スタッフが手作業で行っていたため、患者様の予約情報・カルテ・支払情報などの情報がばらばらで、非効率であり、入力ミスもありました。

システム導入により、保険証の自動読み取りが可能になり、入力時間が短縮され、ミスもなくなり、患者様の待ち時間の減少・患者様1人にさける時間の増加・スタッフ教育の充実等に充てることができます。

事例 3 スチーム・コンベクション・オープン導入による業務効率化

【事業の種類】 老人福祉・介護事業 【従業員数】 23人

現在使用しているガスオープン、焼きムラや調理に伴う水分喪失を防ぐため、火加減や調理時間の様子を見ながら随時調理する必要があるうえ熟練者でないと調整が困難でした。

スチーム・コンベクション・オープンの導入により、火加減の調整等の手間なく大量調理ができるようになるうえ、管理栄養士の調理業務従事時間が削減され、栄養管理・指導に傾注できる時間確保により、入居高齢者の食生活の充実につなげることができます。

事例 4 食品表示シール印刷機の導入による業務効率化

【事業の種類】 小売業 【従業員数】 13人

現在、新商品や商品の規格変更に伴う食品表示シールの作成に、ラベルプリンターの専用機の小さい画面に手で入力をしているため、1商品設定のために時間がかかっています。

食品表示シールプリンターを高性能の機種に変更することで、パソコンやスマートフォンから情報を送信できるようになり、設定時間の短縮が図られ、生産現場での負担が軽減されます。

事例 5 部品管理システム導入による業務効率化

【事業の種類】 小売業 【従業員数】 3人

現在、材料の管理は、発注の度に手作業でエクセルに追記、消込を行っていますが、時間がかかること、また、入力ミスにより在庫が合わず、緊急の棚卸し作業が発生することがありました。

部品管理システムを導入することにより、材料の過不足、納期管理が一元管理され、クラウド上での管理となるため手作業と目視による手間が省略され、人為的ミスも減らすことができます。

事例 6 社内ラベル発行/出荷照合システムの導入による業務効率化

【事業の種類】 製造業 【従業員数】 71人

出荷表と在庫製品に張られたQRコードは共通しているが、客先ラベルは共通でないため、客先ラベルとピックアップされた製品の確認は出荷準備の際の目視確認と積込みの際の目視確認によるダブルチェックで行っていましたが、製品数がかかり多く、出荷準備に時間がかかり、また、間違いが見過ごされて出荷されることもありました。

出荷表、社内用製品ラベル、客先ラベル全てのコードを読み取れるシステムの導入により、目視による確認にかかっていた時間が短縮され、出荷ミスもなくなり、再出荷のために時間・費用が掛からなくなります。